

日本社会情報学会ニュース

第 24 号 2005.7.28.

2005 年度 10 回研究大会に関する詳細
銀行引き落とし口座より会費を引き落としました
2005 年度学会誌『社会情報学研究』の原稿募集

2005 年度 10 回研究大会のご案内

会 員 の 皆 様 へ

2005 年度第 10 回日本社会情報学会研究大会を、来る 9 月 12 日（月）
13 日（火）14 日（水）の三日間、京都大学にて開催いたします。
会員の皆様、万障お繰り合わせの上、ご参集いただきますよう御願
致します。

日本社会情報学会
会長 田 崎 篤 郎

2005 年度第 10 回日本社会情報学会（JSIS）研究大会は、日本社会情報学会（JASI）京都大学
大学院情報学研究科社会情報学専攻、京都大学 COE「知識社会基盤構築のための情報学拠点形成」
の 4 つの研究機関・団体の合同大会として開催し、全体を、「社会情報学フェア 2005」と称するこ
ととなりました。大会プログラムは同封のパンフのとおりです。

開催日程 2005 年 9 月 12 日（月）13 日（火）14 日（水）の三日間
（JSIS 総会 9 月 12 日（月）16 時 30 分～17 時 30 分 会場：物理 3 1 5 教室）
開催場所 京都大学吉田キャンパス百周年時計台記念館ほか
ホームページ（次の 2 つの HP をご覧下さい）

JSIS 関連の開催情報 http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/2005_taikai/

社会情報学フェア 2005 http://www.lab7.kuis.kyoto-u.ac.jp/sifair2005/index_j.html

<注意>参加申し込み方法と参加費

大会参加及びレセプションの申し込みは、社会情報学フェア 2005 全体への WEB 上から
の申し込みに限られます。WEB での申し込み受付は、下記の HP にアクセスしてください。

http://www.lab7.kuis.kyoto-u.ac.jp/sifair2005/registration_j.html

参加費は、8 月 10 日までの事前申し込みの場合、「一般会員 5,000 円」、「学生会員 1,000 円」
ですが、8 月 10 日以降は、正会員は 2,000 円高くなります。他の学会の発表も聞くことができ
ます。なお、開催期間が平日ということもあり昼食の弁当の手配サービスは致しておりません。

総会委任状について

9 月 12 日（火）（16 時 30 分～17 時 30 分 会場：物理 3 1 5 教室）に予定しています総会に出
席できない会員の皆様は、委任状に必要事項を記入いただき、署名のうえ、ご返送ください。期日
は、8 月 3 1 日（水）必着で御願います。（委任状は、総会成立の要件に関わりますので、総会
不参加の方はお忘れなくご返送をお願いします。）

・銀行引き落とし口座より会費を引き落としました。（6 月 23 日）

銀行口座より自動引き落とし会員につきましては、6月23日に引き落としをさせていただきました。引き落としをさせていただいた方には領収書を同封いたしました。なお、口座に残額がなくて引き落としができない方につきましては、おそれいりますが、振替用紙を同封させていただきました。銀行口座を確認の上、今年度の会費は郵便局よりお支払い下さい。会費の銀行自動引き落としを希望される方はどうぞ、事務局にご連絡ください。

今年度会費を含めて、未納になっている会費については、早めにお納めいただければ幸いです。

・2005年度学会誌・『社会情報学研究』10巻2号(2006年3月刊)の原稿募集

1. 投稿資格

日本社会情報学会会員であること。共同執筆原稿の場合は、少なくとも一人が会員であること。

2. 投稿原稿

A. テーマ 本学会の趣旨に添うもの。

B. 内容 未公開の論文または調査研究報告。

C. 枚数 400字原稿用紙換算で50枚以内(図表等を含む) - 原則としてワープロ原稿に限る。

D. 形式

a. 原稿の第1頁は表紙とし、論文タイトル(和文および欧文)のほか、本文枚数、図・表の枚数、氏名、住所、電話、FAX番号、E-Mail番号、所属を明記する

b. 原稿の第2頁には、欧文要旨(200語以内)を記載する。欧文要旨には、論文タイトル、目的、分析方法、結論を簡潔に記し、可能な限りネイティブ・スピーカーのチェックを受けて提出する。

c. 図表等は、本文とは別用紙に記し、挿入すべき箇所を本文中に指定する。

d. 本文は、下記URLに掲載の「論文原稿執筆の手引き」に従って記載する。

3. 投稿原稿の受付

A. 投稿原稿は、査読委員会により査読を受けた後、掲載の可否を編集委員会が決定する。

B. 投稿予定者は、9月30日(2号)までに、論文のタイトルをハガキで学会事務局に連絡する。

C. 投稿原稿の締切は10月31日(2号)を必着厳守とする。投稿者は、審査用の原稿を3部およびフロッピーを学会事務局に送付する。

D. 原稿等の送り先

10巻2号 〒206-8540 多摩市唐木田2-7-1
大妻女子大学社会情報学部 炭谷研究室気付
日本社会情報学会事務局 宛
TEL 042-339-0056(研究室), FAX 042-339-0056

4. 経費の負担

図表の折り込み、色刷り、アート用紙の使用等に要する費用は、投稿者が負担する。

5. 投稿原稿の掲載

A. 投稿原稿の採否および掲載の配列などについては、編集委員会にご一任願います。採否が決定したい編集委員会より連絡いたします。採用論文が多数の場合、一部の掲載を次号に送ることがあります。

B. 掲載論文については、写真印刷のため、下記URLに掲載の「論文原稿執筆の手引き」にしたがい、書式および表記の変更をお願いすることになります。

日本社会情報学会事務局 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1号

大妻女子大学社会情報学部に

TEL: 042-339-0056・0071・0036 FAX: 042-339-0044・0056

e-mail : s-info@otsuma.ac.jp URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsis/>

